

本郷キャンパス「キャリアてっぺんフォーラム」

3 学生が就活を熱く語る

2月9日、仁愛ホールに 2年)と鹿野千里さん(同)は、本郷キャンパス初の「キャリアてっぺんフォーラム」開催の緊張感が漂いました。清田里穂・同実行委員会委員長(外国語学部3年)と、桐生知怜・キャリアリーダー委員会委員長(同)が開会の言葉を述べ、川邊信雄学長のエールを受けてフォーラムがスタート。湯浅まなみさん(短大

文京学院内外での学びや活動に一生懸命取り組んでいる姿を示すことで、後輩たちに「気付き」を得てもらおうとスタートした「てっぺんフォーラム」。今回は、「キャリア活動」に焦点を当て、本郷キャンパスの学生たちが「キャリアてっぺんフォーラム」を開催しました。自己否定を感じて落ち込みながらも、本当にやりたい仕事と巡り会った先輩や、自分の個性を信じて就活に臨んだ先輩。その経験と思いを、3人の学生が熱く語りました。

営業職として内定をいただきました。小方さんは後輩に「企業研究、気分転換友だちは大事。就活を始めたらキャリアセンターへ」とアドバイスしました。

小方さんは、営業研究会と巡り会ったことで刺激を受け、就職活動に力が入りました。ところが現実には厳しく、落ち込む日々。その間、キャリアセンター職員

夏井さんは、就活を通じて「社会に出る上でのマナー、諦めない気持ちの大切さ、人との繋がり」を学びました。短大出身であることで悔しい思いをした夏井さんは、猛勉強を開始。

夏井麻衣さん
(短期大学2年)
大手系列住宅設備
機器、証明器具等
の販売・施工会社

河辺真里菜さん
(経営学部4年)
国内最大級のフ
ァッション通販サ
イト運営会社

河辺さんは、桐生キャリアリーダー委員会委員長と渡辺沙由里さん(同委員)短大2年)からのインタビューを受ける形で就活を語りました。

河辺さんにとっては、服装も髪型も自分の「個性」のひとつ。「在りのままの自分」を受け入れてくれるアパレル業界を目指しました。電話面接を皮切りに、



夏井さん

グループ面接では販売場面のロールプレイを体験。3次面接では与えられた課題に対してのプレゼンを行い、内定をいただいた。



小方さん

から何度も連絡があり、心ある献身的な対応に涙を流しました。最終的に「ここで働きたい」と強く思った企業に通い詰め、



河辺さん

河辺さんのも改善し、より良いものの追求ができるということなので、更なる発展を目指し今後も活動していきます」